

1 はじめに

西暦 815 年から 1200 年以上続く「お遍路さん」文化。四国に点在している八十八カ所のお寺を巡礼するものです。しかしコロナ禍以前より巡礼者の減少は続いており、お遍路さん人口はここ 10 年で約 1/3 にまで減少してしまいました¹⁾。約 25%の方が国外の方でしたがそれもゼロになり、関連施設の収入は大きく減り、さらに後継者不足もあって閉鎖される宿坊も出てきました。「歩いて巡礼する方」にとって宿なしではたどり着きにくいお寺も存在します。

このままでは、お遍路文化は、いつか人々の記憶のかなたに消えてしまうかもしれません。そこで、国籍問わずすべての人が楽しめる、お遍路活性化アプリケーション「お遍路さん」を開発することにしました。「歩き」で巡礼する人に役立つアプリが少ないことから、特に歩いて巡礼する方に役立つアプリを目指しています。

2 作品概要

「お遍路さん」はお遍路さんをサポートし、お遍路同士の情報交換を活性化させます。実際にお遍路をしている方や、お遍路宿の庵主、安楽寺住職、お遍路をサポートする団体の方、などの意見を取り入れました。国籍問わずすべてのお遍路さんが、巡礼のために再び四国に来たくなるような機能を実現しています。

2.1 お遍路みち案内機能 (ナビゲーション機能)

類似アプリでは Google Map 等を利用している場合が多く、Google Map に掲載されないほど細いお遍路みちを辿ることが難しくなっています。つまり歴史的なお遍路みちを辿るには、小さな看板や草むらに埋もれている古い標石を頼りにするしかありません。「お遍路さん」では文献を調査し正確なお遍路みちを示してくれます。また地図データはスマホ本体に保存され、電波が届かなくなってもナビを続けることができます。

実際に巡礼をしている方からの提案として、道の高低差をグラフで表示するようにしました。距離だけでなく高低差が分からないと、今日中にたどり着けるかどうかの判断が難しいためです。

2.2 コミュニケーション機能

コミュニケーションは、チャット機能と立て看板機能があります。チャット機能では、お遍路さんの位置を地図上に表示します。地図上のお遍路さんをタップすることで、その人の 結 願 (88カ所達成) 回数など

の公開情報を見ることができ、フレンド追加やメッセージのやり取り等を行うことができます。海外の方には自動翻訳機能で任意の言語で表示されます。

立て看板機能は、地図上に立て看板を立て、そこに写真付きで情報を公開することができます。道が崩れている、景色が良い、標石あり、などの情報を共有することができます。

位置情報やユーザー情報は、範囲を限定できますので、グループで巡礼する場合も楽しむことができます。



図 お遍路道案内機能 (ナビゲーション機能)

2.3 デジタル御朱印帳機能 (御朱印アルバム)

冊子体の御朱印帳は八十八カ所のお寺ごとにページがあり、巡るごとに重ねて印が押されていきます。各お寺の印が増える毎に写真を撮っておくことで、だんだんと紅く染まっていく御朱印帳を旅の記憶として楽しめるようにしました。

2.4 その他の機能

将来、観光協会等とタイアップイベントを行うことを想定したポイント機能も搭載しました。現在、巡礼したお寺の数をポイントにしていますが、将来は買い物などにもポイントを付与し、イベント実施や賞品提供などにつなげたいと考えています。

3 まとめ

「お遍路さん」は歴史的に正確なお遍路みちを案内し、お遍路文化を活性化するアプリケーションです。国籍を問わず、たくさんの巡礼者がこのアプリを使って、楽しんで巡礼してもらえることを願っています。

<参考文献>

- 1) 21 番札所「太龍寺」ロープウェイ輸送人員、四国ケーブル (株)